

令和元年度 熱田区ACP研修会（概論編） アンケート結果

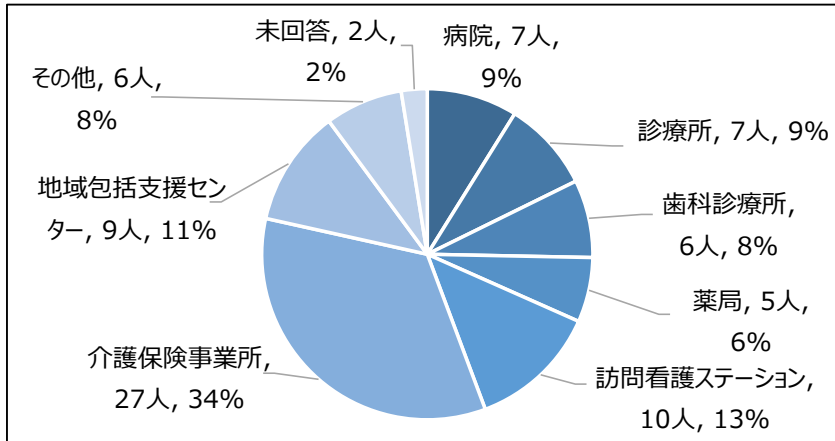
日時：令和2年1月30日（木）14:00～16:00

場所：熱田区役所 7階講堂

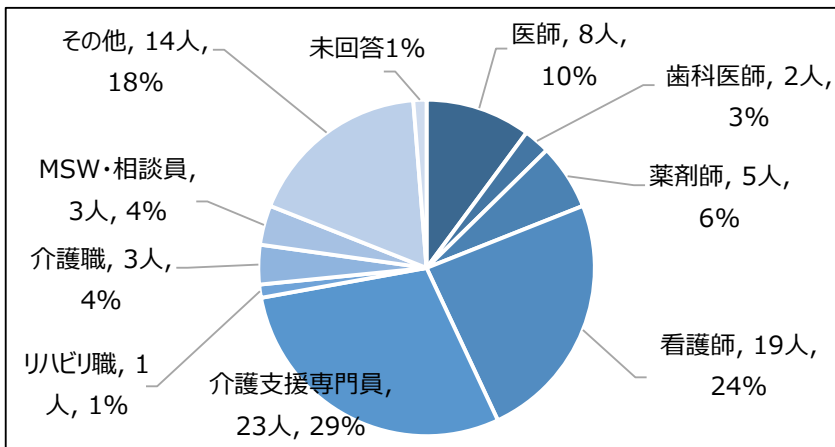
アンケート回収率：92%（アンケート回収：79名/参加者：86名）

1. 参加者ご自身について

①所属を教えてください

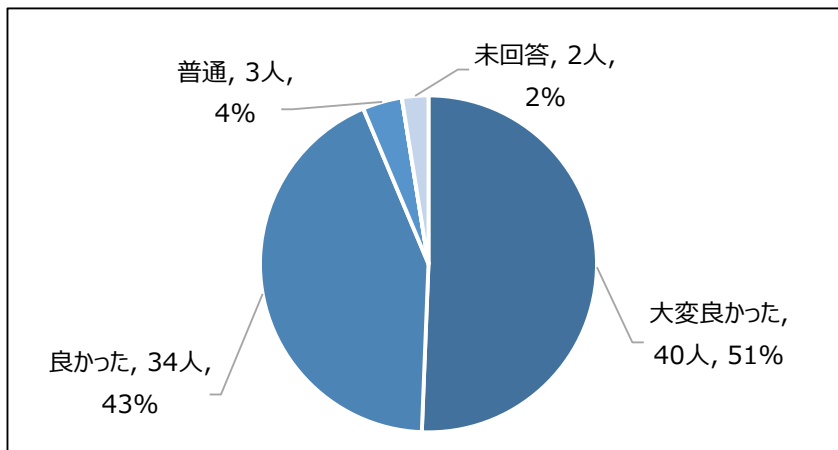


②職種を教えてください

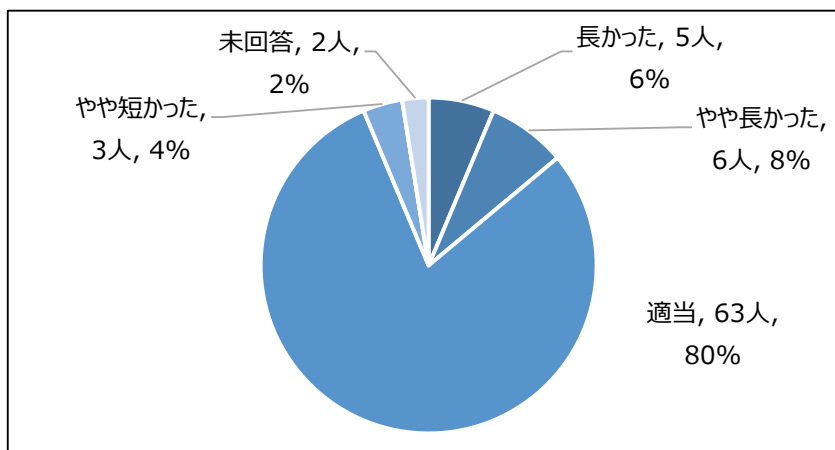


2. 講義（ACP概論）について

①内容はいかがでしたか？

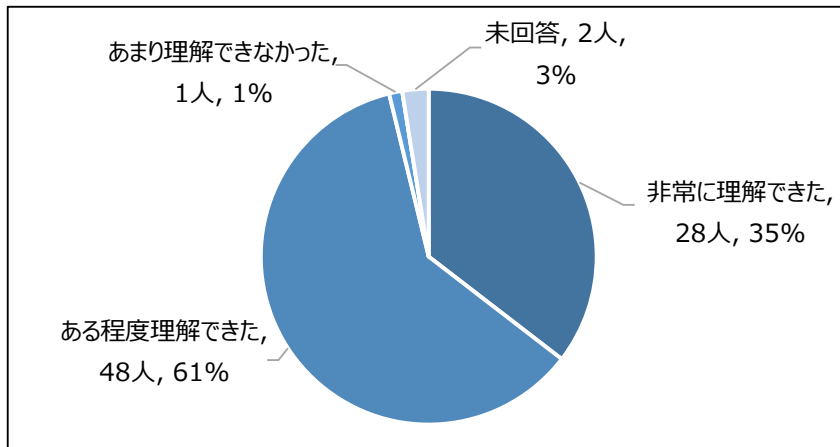


②時間はいかがでしたか？

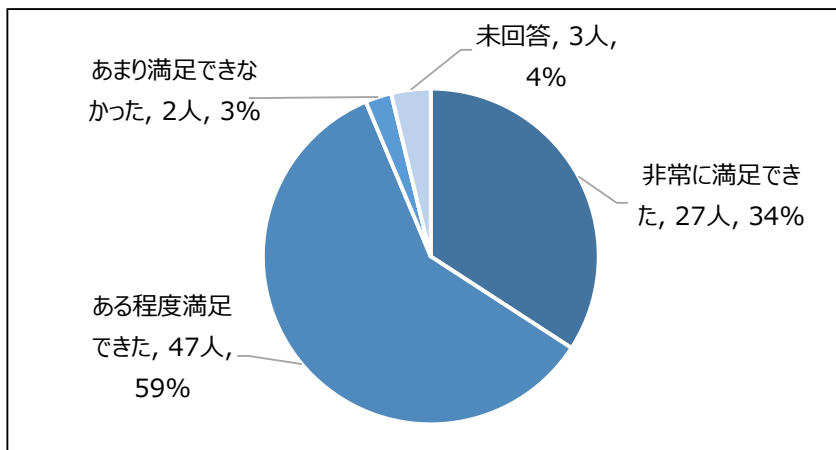


3. グループワークについて

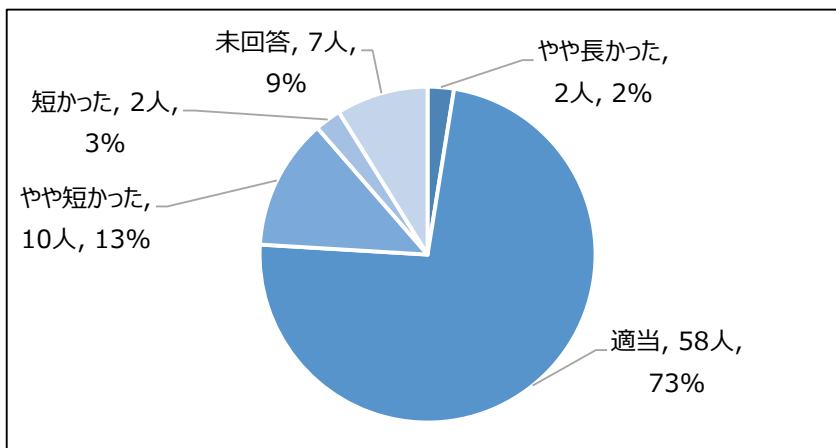
① ねらいは理解できましたか



② ディスカッションは満足できましたか

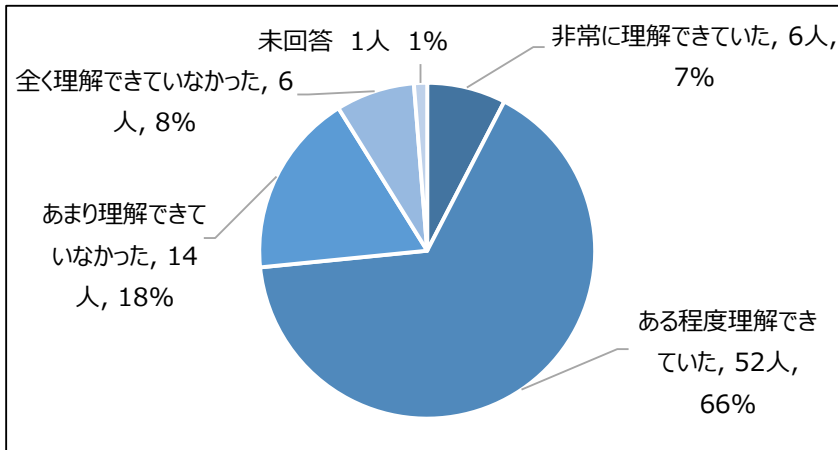


③ 時間（ディスカッション・発表）は適当でしたか

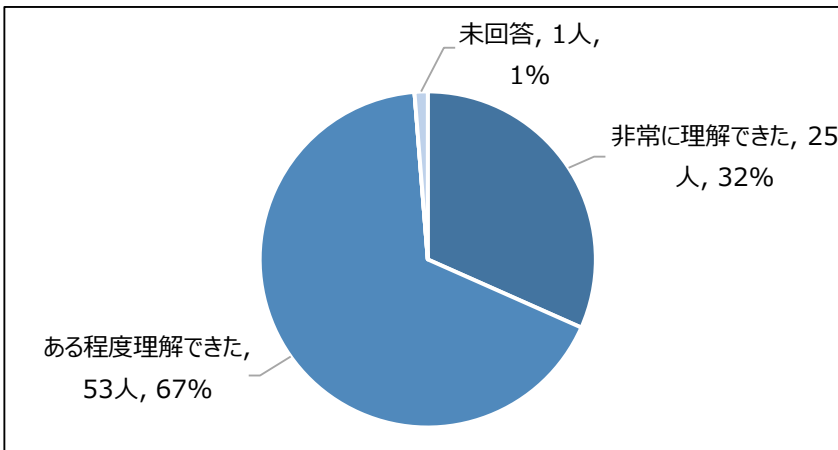


4. 本ACP研修会について

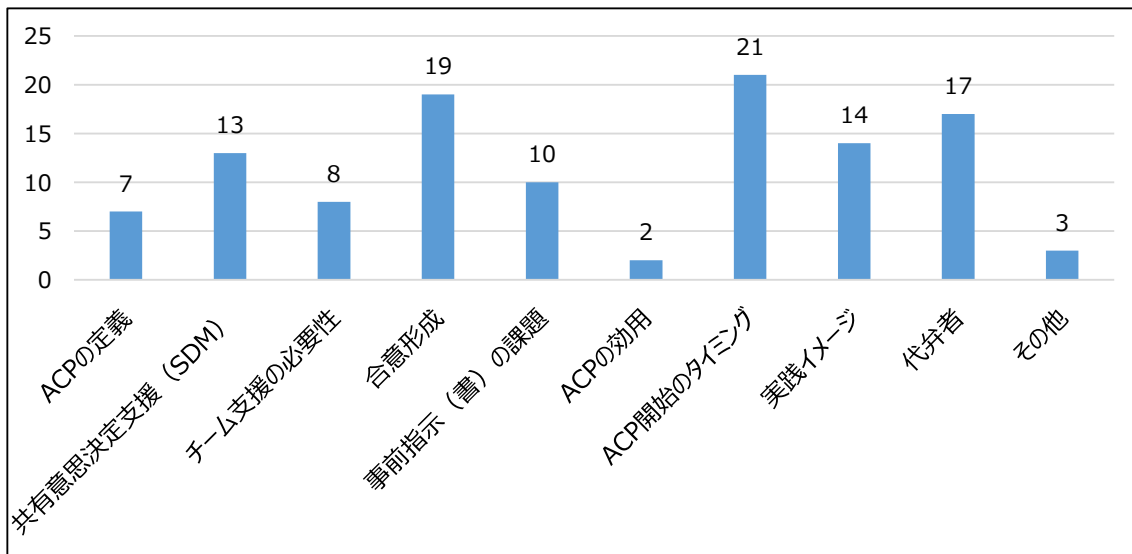
① 本研修会参加前のACPの理解についてお答えください



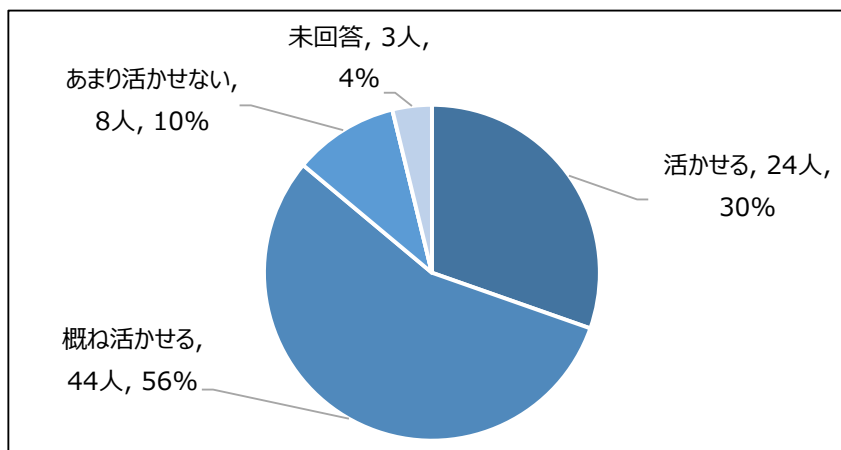
② 本研修会参加後のACPの理解についてお答えください



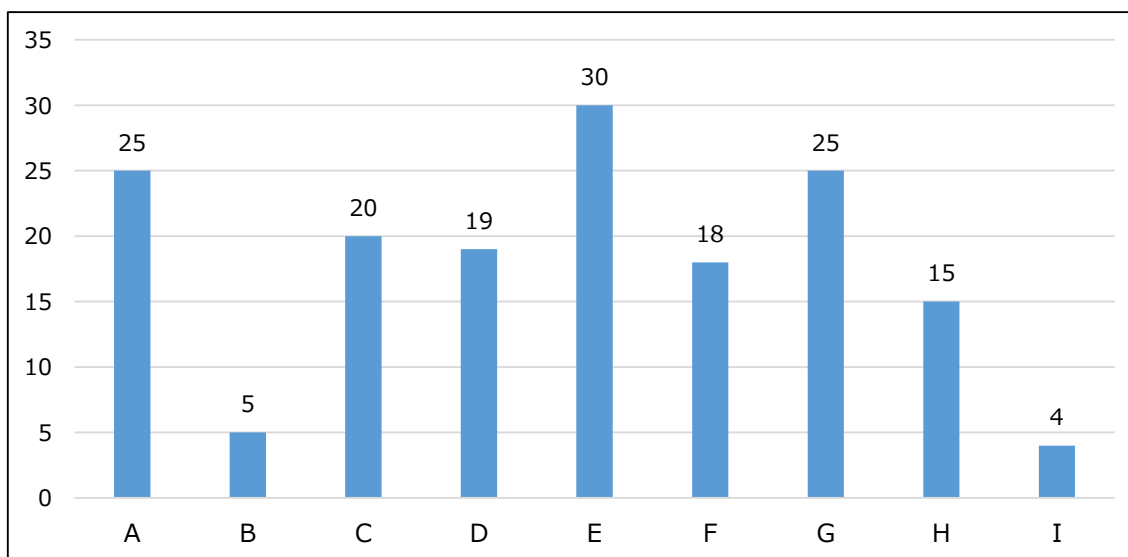
③ 本研修会で理解が難しかった点について、具体的にご記入下さい。(複数選択可)



④ 本研修会の内容は、今後の実践に活かされますか



⑤ 実践する上で困難と感じる点について、具体的にご記入下さい。(複数選択可)



- A: チーム内（多職種）の意欲・理解深度の差
- B: 職場内（上司等）での理解が得にくい
- C: 日常業務の多忙
- D: 患者・家族・市民の無関心
- E: 始めるタイミング、きっかけ
- F: 言葉かけの手法、技術
- G: 言語化・表出されるものが真意であるかの汲み取り
- H: 信頼関係の構築
- I: その他

5. 本日の研修、また今後の研修へのご意見やご要望等をお聞かせください（原文まま）

- 知らず知らずに行っていることもあったが、改めてACPについて学ぶことができ、大変勉強になりました。普段、同じ職種間で話をすることがほとんどなので、医師やCM・SW等他多職種の方の意見を聞いたのは大変良かった。
- 地域の医療・介護サービスの方々と交流・意見交換ができて良かった。
- ACPについての研修は2度目でした。前回のおさがりが出来てとても良かったです。さっそく実践していきたいと思います。
- このような機会をいただき ありがとうございます。
- 早期から意思決定を支援するために、どうしていくか？ 具体例があればお聞きしたいです。
- 高齢の独居で家族がいない人達の意思決定の難しさが参加者皆さんが同じである事がわかった。
- ACPのための情報収集、そしてその情報の共有がとても大事であることがわかりました。自分で得た情報をその人ととりまくすべての職種の方へ知らせることも大事で、それを繰り返して行っていくことも必要とわかりました。自分ができる事をつなげてチームで関わることを目標にしていきたいです。ありがとうございました。
- ACPは大切だが、どのタイミングで行えばいいのか、、難しく感じた。日頃からの多職種の連携が大切と思った。
- 様々な職種の方と話が出来て良かった。
- ACPに関しては、どうしても医師が中心になると思われるのでインシアティブを医師がどうとってくれるか？ 病院ではなく在宅では少し難しいように感じる。単なるご本人の遺言のようなエンディングの言葉だとわかりやすいが、、
- 多職種の方の取り組みや、考え方を聞くことができ、とても勉強になりました。
- 初めての参加で、ACPを学べて良かったです。そして、多職種の方と意見や、仕事の内容などをお話して共有することが出来良かったです。
- 事例について話し合うのではなく、フリートークでも良かったような気がします。
- また、案内下さい。
- 多職種のグループで、いろんな意見が出て良かった。ACPについていろいろなところで、意見交流をすることは大事
- 医師の先生が必要とされる情報は何か、多職種がそれぞれの立場からどのような情報を持ち寄るべきか、ご指導賜りたくお願い申し上げます。例えば、ADLなどは本人を見ればわかるでしょうと考えてしまいますが、救急搬送された時と日常のADLは違います。極々基本に立ち返って確認させて頂きたいと思います。
- 多職種の方が大勢参加して意見交換できて、良い勉強会であったと思います。
- 在宅での各職種の情報共有がとても課題だと感じた。ある程度若い内に、自分や家族がどのように生きたいのか、死にたいのかを主張や残しておける文化も必要だと思う。患者様の個の意志や尊厳が大切にされればと思います。
- 自分の家族のACPを始めます。いろいろな患者、利用者の背景・思いを知るタイミング、きっかけが難しいと感じますが、本日の研修で、タイミングについて経験を共有できて良かったです。

- ファシリテーターの言葉で、良い話し合いになった。信頼関係を作り上げる事の大切さを知った。テーマが大きい事なので、なおさら本心を聞きださなければいけない。
- 多職種の方と話す機会が少なく、よい経験になりました。
- グループディスカッションではファシリテーターの方の進行により全員が話しやすい雰囲気話し合う事ができた。
- さまざまな意見が聞けて参考になった。今行っているACPで、まちがいないとの自信にもつながった。他の職種となかなかつながりにくい所があるので、はち丸ネットワーク活用できるといい。
- 病状や本人の状況によって対応が難しいと思いました。
- 今回の研修会がつみ重ねて行けるとよいと思います。
- ACPは今までも行っていたが、情報の共有や家族支援が難しいと感じた。
- 始めてACPという言葉に触れて他業職種の方がどんな事に悩んでいるのか知ることができました。大変良い経験になりました。ありがとうございました。
- 情報共有がACP後も大切だと学びました。
- ケアマネの担当としている期間が長いほど、自然にACPを行っていたと思います。せっかくの情報を得たACPを活かしたケアができるようにしたいと思う。
- 日頃からACPまがいをしていると感じた。完成というより未完成が多く、それは未完ではなく繰返し行い共有していくことが大切だと思います。きっかけをつくることがまずは第一歩として、声をかけまくる！！ということを学んだと思います。
- 有意義な時間をありがとうございました。
- 他職種連携の重要性をあらためて認識しました。
- 普段関わる事の少ない医師・薬剤師の方とのディスカッションがとても良かったです。今後はどのように多職種で話をまとめていくかはまだ時間がかかりそうです。普段から何気ない会話からどんどん広がっていきやすい。これからも実行していこうと思いました。